

# あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

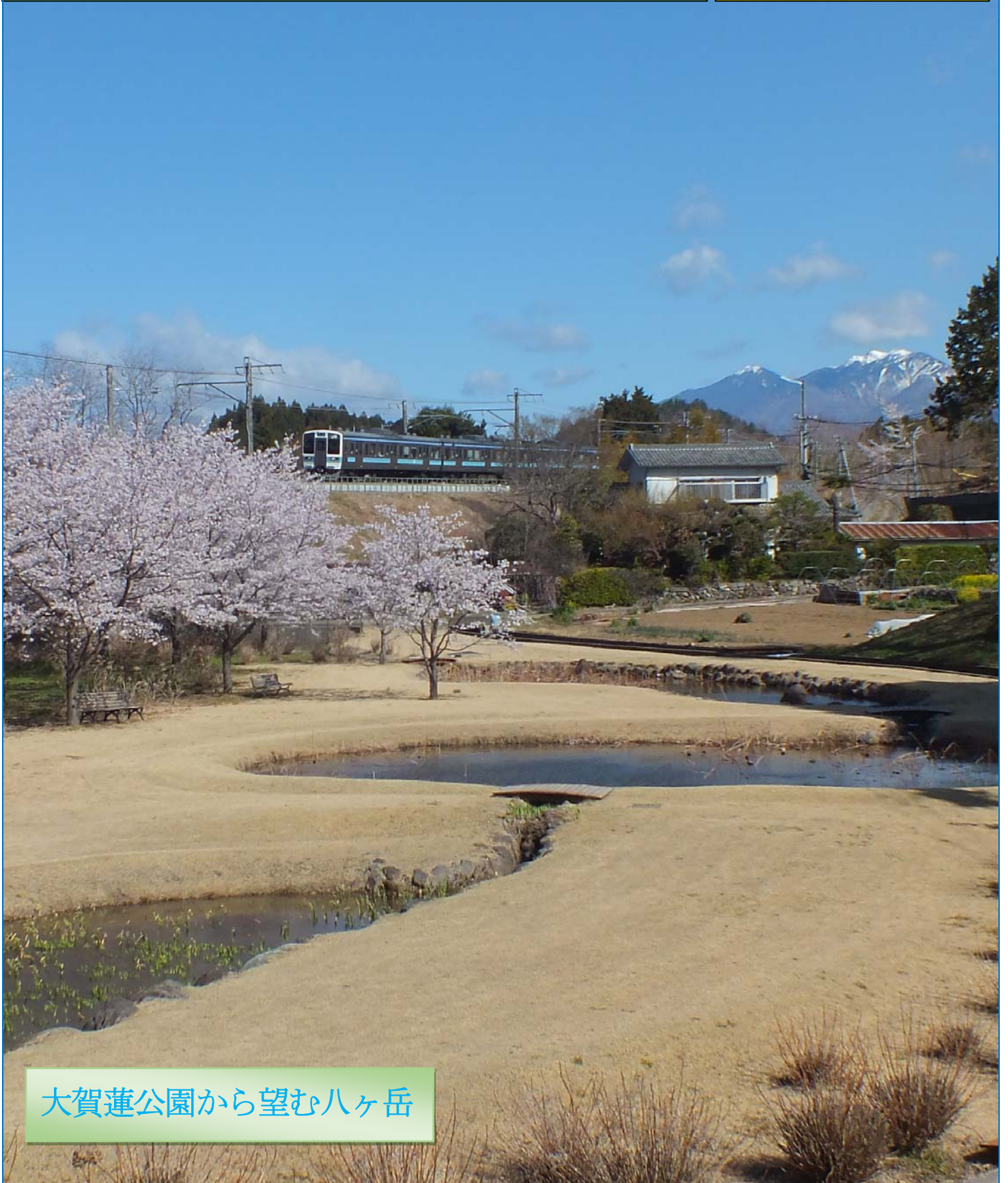
山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

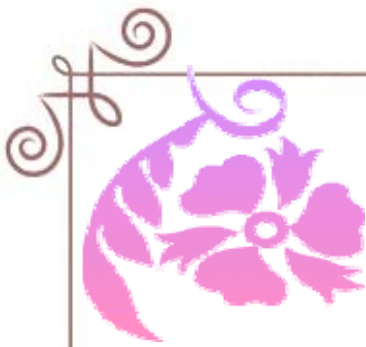
FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



大賀蓮公園から望む八ヶ岳



# 『新たな年度を迎え』

社会福祉法人信和会 理事長

栗原 信

社会福祉法人を取り巻く環境は、厳しくなっておりますが、特に近年、福祉の仕事に就職を希望する人が少なくなってきました。これは、福祉の現場の仕事が厳しく、賃金が安いなど負のイメージが多いように感じます。しかし、今、各社会福祉法人においても、働きがいがあり、かつ働きやすい魅力ある職場づくりを目指していますし、国においても各種の処遇改善加算により、給与の改善が進められています。しっかりと社会福祉事業の魅力を広く発信していかなければならないと思います。社会福祉事業は、まさに人のために行う事業であります。そのためには、働く職員も利用者も当法人と関係を持つ方すべての皆さまが、理想的な生活の目的に向かって、進んでいけるように経営をしていかなければならないと感じております。

では、なぜ人は働くのか、稲盛和夫さんの本の中に次の言葉が書かれていました。

## 人の幸せ

- 1つは人にほめられること。
- 2つは人に必要とされること。
- 3つは人の役にたつこと。
- 4つは人に愛されること。

これらの4つの幸せは、働くことにおいて得ること以外不可能なのです。

働く喜びは、この世に生きる最上の喜びであり、人生を充実させていくために必要不可欠なことは「勤勉」です。すなわち懸命に働くことまじめに一生懸命に仕事に打ち込むこと。そのような勤勉を通じて人間は、精神的な豊かさや人格的な深みも獲得していくのです。

仕事一筋では味気ない、人生には趣味や娯楽も必要という反論が返ってくるが、趣味や遊びの楽しさとは、

仕事の充実があつてこそ味わえるもので、仕事をおろそかにして趣味や遊びの世界に喜びを見出したとしても、一時的には、楽しいかもしれませんが、決して、心からわき上がるような喜びを味わうことはできないのです。

もちろん、仕事における喜びというのは、飴玉のように口にしたらすぐに甘いといった単純なものではありません。労働は苦い根と甘い果実をもっているという格言のとおり、それは、仕事の苦しさやつらさの中からにじみ出してくるもの。仕事の楽しさは苦しさを超えたところにひそんでいるものです。人の営みのうち最上の喜びを与えてくれる労働において充実感が得られないかぎり、他の何かで喜びを得たとしても物足りなさしか残らないはずです。

福祉の現場は、職として決して楽しいことばかりではありませんが、人のために行動をし、喜んでいただけるという点では、直接に反応が返ってきます。人のために行動を起こすことは、その人のことを理解するということであり、それは、自分自身を知ることであり、私たちの人間としての基礎をつくり、人格を磨いていく位置づけであると思います。

福祉という仕事はそういう仕事ではないかと考えます。

ぜひ、多くの皆さまが福祉へ関心を持ち福祉の現場へ参加していただければと思います。

今年度も各事業所とも計画を定め目標に向かって進んでまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。





# 本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
TEL0551-25-6100  
E-mail: [honbu@sip-shinwakai.jp](mailto:honbu@sip-shinwakai.jp)



## 理事会・評議員会報告

- 開催日：平成31年3月23日（土）  
開催場所：穴山の杜 会議室  
審議事項：第1号議案 2018年度補正予算（案）について  
第2号議案 2019年度事業計画（案）について  
第3号議案 2019年度予算（案）について  
第4号議案 諸規定の変更について



平成30年度第3回目の理事・評議員会が開催されました。  
今回は次年度の事業に関する事項並びに予算案について各事業所より提案し、審議して頂きご承認を得ることが出来ました。

特記すべき事項として、既に承認を頂いております新規事業については、本年度竣工をめざし近々着工いたします。また、職員の働き方改革に伴い就業規則と給与規定の一部改正を行いました。今年度は役員改選の時期ではありませんが、選出事由として長年韮崎高校の校長先生に評議員をお願い致しております。この度、谷戸校長先生の退職に伴い新年度新たに着任されました校長先生に評議員として依頼致します。

本年度も益々のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

## 新年度がスタートいたしました

### 辞令交付式

◎4月1日 2019年度新たに採用されました職員の採用辞令と各事業所主任・リーダーに昇格した職員への任命辞令が交付されました。

『誓いの言葉』のなかにく利用者様が安らぎの生活を送って頂くために今の私達がいる事を常に忘れず基本理念でもある「接遇・感謝・向上」の三つを極め、より良い生活を提供できるように努力します>という言葉がありました。各施設の職員の皆さんは初心を忘れず頑張ってください。



### 勤続表彰



◎4月1日 辞令交付式と共に永年勤続された職員の皆さんの勤続表彰を行いました。

- 30年勤続 野澤佐知子（短期入所生活介護事業所）  
10年勤続 伊藤みゆき 成島 綾 千葉一樹  
小野馨子（以上穴山の杜）  
秋山由加（共同生活事業所）

おめでとう御座います。益々のご活躍を祈念致します

# 穴山の里

障害者支援施設 穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164  
Tel:0551-25-5900  
E-mail : [sato@sip-shinwakai.jp](mailto:sato@sip-shinwakai.jp)



今年度は30年間に及んだ“平成”から“令和”の時代へと変わる節目の年でもあります。この節目の年にふさわしく、当施設の施設長として新たに岩波輝明氏をお迎えすることとなりました。

思えば昭和61年に開設した穴山の里は平和な平成の時代と共に過ごしてまいりましたが、令和の時代も変わらず平和で、利用者の皆様が健康で和やかに過ごされるよう、また地域の方々にも益々愛される施設となれるよう、新施設長と共に職員一丸となって信和会基本理念『接遇・感謝・向上』を胸に努めてまいります。

## 新年度のスタートに際して

サービス管理責任者 小林 恵美香

今年度はサービス管理責任者を拝命し2年目となります。私は、穴山の里で生活支援員として働く8年の中で管理業務に興味を持ち勉強を始め、資格を取得させていただきました。

個別支援計画の作成を行う際には、利用者様の希望や目標達成に対してどのような支援が必要なのかを、支援員や看護師、栄養士など他職種とも話し合いを重ねています。「気づき」や「想像力」を大切にし、穴山の里の基本理念にもあるように、『利用者様があって私たちの生活が成り立っていること』を忘れずに精進していきたいと思っております。

岩波新施設長をお迎えし、昨年度よりもさらに利用者様一人ひとりに適した支援を見つけ、心が休まる場所の提供を職員一同で目指してまいります。

## 特集コラム 強度行動障害支援について(第1回)

『強度行動障害』とは激しい自傷や他害、激しい拘り、器物破損等、周囲の人の生活に影響を及ぼす行動が、高い頻度で発生するため特別な支援を要する状態のことで、当施設では34名がその対象であるため、平成30年度から重点的に支援に取り組んでいます。今年度は特集コラムとして全4回にわたり掲載予定です。

問題行動の多くは“コミュニケーションの役割”をもつと言われております。言葉で訴える事ができない利用者さんは「嫌なこと」や「してほしいこと」の“意思表示”として、言葉の代わりに他害・自傷などの問題行動をしてしまいます。

障害は一人ひとり異なるため障がい特性を理解しどんな支援をすれば良いか、職員が誰でも同じ支援ができるように会議で支援方法を検討し手順書を作成し、専門的研修を受講した職員によって支援を行っています。 《文責：杉谷 太》

### 節分



2月2日、季節行事である節分の豆まきを行いました。「節分」の由来説明の後、利用者様と職員とが鬼に扮して登場すると、皆さん一斉に元気よく豆を投げつけ、鬼と邪気を追い払う事ができました。また、ペットボトルに鬼の仮面をつけてペットボトルボーリングも行い、皆さん上手に“鬼ボトル”を倒す事ができました。最後は、切り山椒や節分豆を食べて今年も皆で元気に楽しみました。



### バレンタインデー

### お菓子作り



2月17日、地域交流とバレンタインデーを兼ねて「長坂さんちのおやつ」の長坂様と協力して女性の皆さんでお菓子作りを行いました。生地を混ぜて焼いてできたお菓子に生クリームを飾り付けたり、男性にメッセージカードを書いたり笑顔で楽しく行うことができました。



また調理の際、卵を綺麗に割る姿から、高い女子力の片鱗垣間見ることができて、とても良い機会になりました。



# どんと来い! どんと焼き!



1月14日 「どんと焼き」を行いました。どんと焼きの開始に際し、代表の利用者様がお塩とお神酒でお浄めをした後に、しめ縄や竹松、人形・大神・中神様等の正月飾りを景気よく燃やしました。最後の締めには温かい甘酒をみんなで味わい無病息災を祈念しました。



# 信玄公祭り

- 4月6日 甲府市内まで信玄公祭りの見学に行ってきました。
- 会場で甲冑を着た武者を見た利用者様の顔からは笑顔が見られ、記念撮影では、武者から渡された刀を恐る恐る握ってポーズをとり写真を撮っていただきました。
- また、人ごみ等への不安がありましたが、利用者様は落ち着いて見学することができていました。



## 里の手前味噌



2月7日に毎年恒例の味噌作りを農業班中心に行いました。早朝5時半から前日洗って釜入れした大豆を焦がさぬように、櫛(カイ)や大杓子で大豆の形が崩れないように注意して掻き回し、煮豆が舌で潰れるくらいまで煮ます。次に機械でミンチにして冷まし、煮汁で硬さを調整しながら米麴、麦麴、塩を入れ攪拌し、最後は約10日間冷ましてから樽に重石をして仕込みが完了します。利用者の皆様にも、煮豆を運んだりシャモジで切って冷やしたりと、楽しくお手伝いしていただきましたので、是非、里の美味しい『手前味噌』をお試ください。

## 書道クラブ 一日外出

2月21日 利用者様の外出支援の一環として書道クラブで外出に行ってきました。当日は快晴で外出にはとても良い環境でした。フルーツ公園(山梨市)では富士山や盆地の景色がはっきり見え、利用者様の中には「きれいだね」と、感想を述べる方もいました。また昼食は、各自が食べたいものを選び、美味しそうに食べていました。イオンモール甲府昭和では買い物をし、どれも良い体験と思い出になりましたので、また企画をして行きたいと思います。



## 農業班 一日外出

2月28日 農業班と一緒に「不老園(ふろうえん)」(甲府市)に行ってきました。

当日は、雨が降っていて少し肌寒かったのですが、良かったのは、この季節でしか見られない梅の花が殆ど散ることなく咲いていたのを楽しめたことです。



でも、利用者の皆様が特に楽しみにしていたのは、ラーメンを食べに行くことだったので、私を含め、「花より団子」派が多数を占めていました。普段施設で食べるのとはひと味違った風味を堪能した1日でした。

## ふれあい班 活動紹介



ふれあい班の屋内活動では、若い利用者様は数を数える練習や色分け、形のマッチング等の活動を行っています。

また、できることが多い利用者様は就労・地域移行を目指し、今までのリサイクル活動の他に、ペンの組み立てや解体作業、袋詰めの練習を行っています。他にも好きな折り紙やちぎり紙で職員と一緒に作品作りも行っています。

屋外活動では、気分転換も兼ねて穴山町内をウォーキングしたり、ウサギの世話や敷地内清掃活動も行っています。

## なかよし会 年度末総会 終了

3月30日(土)に、利用者の皆様で平成最後の「年度末総会」を行いました。色々な意見を出し合いながらホワイトボードに重要事項を記載し、30年度の目標は守れたか、新たな年度の目標は何にするか等、真剣に話し合っていました。来年度に向けて気持ちも新たに、充実した生活を送れるように目標を胸に頑張ります。



# 穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
TEL0551-25-6100  
E-mail : [mori@sip-shinwakai.jp](mailto:mori@sip-shinwakai.jp)



元号も平成から令和に変わり、新たな時代に入り大きな変化を予感させます。時代はより一層少子高齢化が進み、とりわけ高齢者対策は介護の問題を含め大きな社会問題となっています。高齢化したら施設入所し晩年を過ごすことが出来ると思っていたところ、施設への入所も簡単ではなく、やむを得ず自宅での生活となってしまいます。入居を申し込まれても、入居まで暫くお待ちしていただき大変心苦しく思っております。施設では入居された方々に「我が家での生活の継続を」の考えから、職員が種々のアイデアを出して介護にあたっております。今年度もその考えを一層推進し、入居者にとってより快適な晩年になっていただけるよう努力してまいります

## 介護活動成果を発表しました!

介護職員 横森 将輝

2月10日に開催された山梨県老施協研究総会において、穴山の杜での介護体験の実践発表を行いました。発表テーマは「そんなにおこっちょし」と題して、介護の苦労話や改善の成果を発表しました。

以下に取り組み前の状況について記します

入居当時から、職員や他の入居者様に対して事あるごとに怒り、暴言・暴力、入浴や排泄などの介護拒否も日常的に見られ、他者とのコミュニケーションが困難であった。昔から人付き合いが苦手な性格だったようだが、他者との良好な関係性を築いて欲しいという職員の想いや「穏やかに過ごして欲しい」というご家族の意向があり、課題として設定し、改善に向けて取り組むこととなった。

①ユニットで「にやりほっと」の活動を展開し、ご本人の言動や行動のプラス面に積極的に関わりを持つようにした。また、食席については席のレイアウトを変え、相性の良い男性入居者様の隣に座っていただくようにした。②サービス担当者会議にて、ご家族にご本人の状況をお伝えし、ご家族の面会時にはとてもいい笑顔をされる為、出来るだけ面会の機会を多くして、関わる時間を増やしていただけるようお伝えし了承を得た。



取り組みの結果と評価・・・他の入居者様の事を気にかけて世話を焼こうとされる姿や、食後に食器を運んで下さり「ご馳走様」と笑顔でおっしゃる様子が見られる様になった。また、相性の良い男性入居者様と手を繋いで散歩に行かれたり、CDに合わせて一緒に歌を歌われるなど、他者との関わりが増えた。②定期受診に合わせて服薬内容の見直しが行われた。興奮を鎮める薬が処方され、経過を観察しつつ量を調節した結果、怒り出す事や暴言・暴力がほとんど見られなくなり、笑顔が増えた。

考察・まとめ・今後の課題・・・昔からの性格によるものだからと諦めていた感があったが、ご本人のプラス面に目を向けた事で、これまで気付かなかった暖かい一面が見られ、課題を改善する為の可能性を模索する良いきっかけとなった。また、服薬に頼ることも課題解決の為の一つの手段として関係職種で検討し、取り入れる事は間違いではないという事を実感した。又、一つの課題でもそれを解決する為には、複数の視点を持って改善に取り組む事が重要であり、諦めずに時間をかけて実践する事で見えてくるものがある。

## ～委員会活動紹介～

< 介護事故・拘束・虐待防止委員会 >

委員長 清水 照仁

活動目的は「身体機能が低下した利用者の事故防止活動」、「利用者の人権、尊厳を擁護するため拘束、虐待ゼロ活動」となります。また、今年度の活動目標としては「危険予測を踏まえ、事故率を下げる」、「精神的・身体的に拘束ゼロを見直す」の二点を目標として活動しています。介護事故防止については、介護サービス提供に不随して発生する事故を未然に防止するため現状の分析、改善策等の検討を行い、発生した事故の対策を実施し、再発防止に努めています。より質の高い介護サービスを提供するために多職種連携を行い、利用者の事故防止対応について定期的に検討を実施し、組織全体で介護事故防止に取り組んでいます。拘束・虐待防止については、利用者の自由を制限し尊厳のある生活を阻むものと捉え、安心出来る生活の場を提供することを最優先に考え、周知徹底に努めています。また委員会主催の施設内研修を定期的に実施し、多くの職員に出席していただきました。



# 穴山の杜人材育成を担当させていただいて

HRDサポート代表 樋口しのぶ

皆さん、こんにちは！穴山の杜で人材育成のお手伝いをさせて頂いております、HRDサポートの樋口と申します。

平成28年の秋からご縁を頂き、お邪魔しております。初めて穴山の杜を訪れた時のことを今でもハッキリ覚えています。玄関に入った時に感じたものは「綺麗で清々しい！！」この一言でした。私は、公益財団法人介護労働安定センター山梨支部の人材育成コンサルタントとして、山梨県内の介護事業所を年間80件ほど訪れておりますが、穴山の杜ほど整理整頓され、掃除も行き届いている施設は見たことがありません。第一印象の重要性は接客マナー研修などでお伝えしていますが、人に限らず、法人・施設においてもとても重要です。（第一印象は、視覚からの情報で55%が決まってしまうのです！）第一印象が良いということとは、期待感が高まることにも繋がります。私自身、「こんな綺麗に整っている施設ならば職員の皆さんもきっとしっかりされているはず」と思いました。

実際にまずはリーダーの皆さんの育成を1年半ほど担当いたしました。やはり当初から介護に対する想いや仕事に対する意識レベルは高かったです。その意識を行動化できるよう、介護自体のテクニカルスキル以外のコンセプチュアルスキル・ヒューマンスキルの向上をお手伝いさせて頂きました。リーダーの皆さんの成長度合いは、その後担当させて頂いている若手職員の方々と接する中で実感できております。若手職員の皆さんから「〇〇さんのようにになりたい」という発言が多く聞かれます。目標とされるリーダーに成長されていることがわかり、とても頼もしいと感じております。現在、担当させて頂いている皆さんがまた次の世代からそのような目標になっていただけるよう、これからも精一杯サポートさせて頂きたいと思っております。

自寿  
おめでとう  
ございます



3月13日99歳のお誕生日を迎えた興石富枝様の白寿のお祝いをいたしました。施設長から花束を贈呈させていただき、ユニットで用意した大きなお祝いケーキをご覧になり、「ありがとう」と何度もおっしゃっていました。ご家族、他利用者や職員に囲まれながら、大きくカットしたケーキを美味しく召し上がり、元気な姿を見せて下さいました。これからも笑顔を見せて下さいね！おめでとうございます！！



## 施設内研修



2月7日 介護力向上委員会主催で、職員対象に“食品試食研修会”を実施しました。これは、利用者様が口にされる食べ物（トロミ・栄養補助食品・キザミ）を職員が試食する事で、利用者様の感覚を少しでも理解する事を目的として開催いたしました。トロミ剤で3段階のとろみをつけたお茶、栄養補助食品（おかず系やデザート系）、刻んだ胡瓜を実際に食べてみて、感じた事をその場で意見交換しました。中でも、細かく刻んだ胡瓜は我々でも飲み込みにくく、濃度の違うトロミを付けた3種類のお茶はどれも飲みにくく正直美味しくなかったです。また、食べる時の姿勢や口腔内の状況でも、咽込みや誤嚥に繋がる危険性がある事を再認識いたしました。今回研修した事を日頃の支援に役立て、今後も利用者様に安全・安心していただけるよう勉強していきます。



お茶会

2月5日喫茶店（お茶会）が行われ、寒〜い冬には温か〜い甘酒！という事で、酒粕香の甘酒とやわらかみたらし団子をいただきました。気温や風邪予防の観点から、今回は2階フロアと3階フロアそれぞれで実施しました。懐かしソングのBGMを口ずさむ方々、他ユニットの利用者と会話をされる方と様々で、ユニットへ戻る利用者の表情は明るいもので、心も身体もぽかぽかになりました。



# わ〜く 穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1  
TEL : 0551-25-5866  
E-mail : [work@sip-shinwakai.jp](mailto:work@sip-shinwakai.jp)



## ～新年度のご挨拶～

サービス管理責任者 平賀 薫

わ〜く穴山の里、サービス管理責任者の平賀です。日頃から皆様には当事業所の活動にご理解・ご協力いただきましてありがとうございます。

予てより長期目標として「生きる力を身につける」をテーマに掲げ、作業の中で挨拶・相談・身だしなみの力を身につけ親亡き後も地域で生活し続ける事を目標にした取り組みを進めております。利用者様に関わる人が目的や根拠を明確に持った支援を展開しているところです。その中で感じることは、地域の方が障がいを持つ方の事を私たちが思っているよりも「知らない」「興味がない」ということです。以前見学に来ていただいた方に「障がい者に仕事をさせるなんてかわいそう」とご意見をいただき衝撃を受けたことがあります。わ〜くに出勤して仕事をしてお給料をもらい、好きなことに使うという目標を持ち、いきいきと仕事や活動に取り組んでいる（私達と同じですね）利用者様の姿を地域で生活している多くの方に見ていただきたいです。そのために、地域の皆様と繋がりを持つ機会をいかに作るか、どうしたら興味を持っていただけるのかを日々の課題にしています。壁がある、入りにくいと捉えられがちな障害サービス事業所ですが、大きく扉を開いてお待ちしておりますので、お気軽にお越しください。



3月30日 韮崎東中学校吹奏楽部の皆さんに来ていただきました。生演奏に合わせて歌ったり、踊ったりしました。また、地域の皆様もお誘いし、暖かいコンサートになりました♪

作業を先輩と一緒に頑張ります。



4月よりNさんがわ〜くの仲間いりをいたしました。

# 共同生活事業所

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1  
TEL : 0551-25-5866



## ご挨拶

サービス管理責任者 秋山 由加

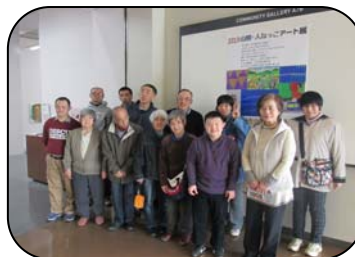
皆様には、日頃より共同生活事業所の活動につきましてご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。さて、信和会にお世話になり早10年、昨年末わ〜く穴山の里から共同生活事業所への異動に伴いサービス管理責任者として現在に至っています。

グループホームは、障害のある方が地域の中で共同生活を営む形態をとり、そこに生活する利用者様一人ひとりが自らの意志や自己決定に基づいて主体的な生活を送れるように日々支援を行っています。しかし、利用者様の高齢化に伴い介護保険サービスを含めたより良い生活環境の構築を図っていかなければならない状況になってきているのが現状です。そこで、今後は地域にある社会資源の活用や、各関係機関との連携が必要不可欠であり、そこに暮らす利用者様の「自分らしい生活」の実現に向けて、課題の共有化とともに課題解決に向けての取り組みを図っていきたいと思います。



3月9日・16日2班に分かれてサーカスを楽しんできました。利用者さんの歓声は会場中に響き渡り、驚きと感動をたくさんもらってきました。

## 人ねっこアート展見学



3月21日 県立美術館に作品の見学「ここにあったよー」と職員の手を引っ張り自分の作品を見つけては教えてくれました。

画法は<スクラッチ>思いのままに描きました。作品と一緒にパチリ





# 穴山の杜シヨート

穴山の杜 短期入所生活介護事業所  
〒407-0263 菟崎市穴山町 4410-3  
TEL : 0551-25-0800



## 『 栄養士として新たな気持ちで 』

栄養士 広瀬 智子

過去に老健や有料老人ホームなどを経験し、穴山の杜短期に勤務して3年が経ちました。栄養士になって25年になりますが、当時に比べると、利用者様の年齢層や疾患、嗜好など食に対するニーズが広がったと実感します。

今回私にとって新規の施設勤務は2度目の挑戦となりましたが、初回は新卒だったため何も解らず、委託業者や先輩に助けを求めばかりで、気持ちに余裕など全くありませんでした。そんな苦い思い出や苦勞を懐かしむ中で、真新しい建物・仲間・厨房で一から作り上げて行く機会に巡り合えたことは、幸せとともに身が引き締まる思いでした。

最初は利用人数も少なく、職員の連携も上手くいきませんでした。今では勤務して良かったと思うことがあります。一つ目は、食事提供についてです。木の温もりを感じるホールとテーブルで、陶器や適温で目の前での盛り付け、施設を感じさせない家庭的な雰囲気です。それと同時に一人一人の利用者様の喫食状態を常に間近に見ることができ、変化に気付いたりお声掛けができるなど給食向上に繋がります。2つ目は限られた職員数の中で、職種に捉われず多岐に渡り携わっているチーム力の良さです。栄養士は1人業務なので孤独ですが、何度も他職種に励まされ救われました。

これからも初心を忘れずに、今以上に進んで業務に携われるよう広い視野を持っていきたいと思ひます。そしてその努力が利用者様の安心した楽しい施設生活に繋がっていくことと信じて、一生懸命頑張っていきたいと思ひます。



## 節分



## おやつレク

1月15日小正月に繭玉作りをしました。赤・黄・緑など鮮やかな団子を枝に飾りつけ、今年の豊作を祈願しました。



恒例の豆まきをしました。昼はかしわ御飯と鰯の煮付け、おやつは切山椒と甘酒をいただきました。



3月22日たこ焼き作りをしました。初めて挑戦する利用者様も竹串の返しに奮闘していました。施設中に香りが充満し、あつあつで好評でした！！

## 余暇活動



色紙と厚紙を活用して桜の貼り絵を作成しました。施設前のフェンス展示スペースに飾ってあります。ぜひご覧ください。



## 開所記念日

施設前の道路の桜も満開となり、桃の花芽も色付き始めた今日4月1日、施設は4年目を迎えました。祝い御膳の海鮮ちらしを食べながらお祝いをし、『美味しい！大好物だよ！』とみんな笑顔。おやつには抹茶を点て和菓子をいただきました。新年号『令和』の発表もあり、終始お祝いムードでした。



## 感謝録

(平成30年12月16日から平成31年3月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

古内保明・藤田 元・川崎武志・橋田禮子・柴田正雄・木島廣子・

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

阿部光雄 (歌謡)・島津泰子・長坂泰子・島津公子・細窪房美・嶋津良子・森岡節子・西山千代子・堀井敬子 (歌謡協力)・田中康子 (絵画指導)・足立悦子 (ピアノ演奏)・千野公洋 (太鼓)・飯野祐子 (習字講師)・葺崎スポーツクラブ・葺崎市立東中学校吹奏楽部

## 訪問録

(平成30年12月16日から平成31年3月15日)

☆教育実習 (敬称略)

◎大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校

伊部圭亮

◎帝京学園短期大学

北原 駿 ・ 横森彩実佳

☆施設見学 (敬称略)

◎社会福祉法人 上伊那福祉協会

◎北杜高校2年生 (34名)

◎清水雅美 (清水屋旅館)

◎福山隆久 ( (福) 恵優会)

◎安里高祐 (NPO法人河原部社)



# 特集

# 新社会人の抱負

今年も新卒職員を迎えることができました。フレッシュな職員の初心の思いをご紹介します

穴山の里：生活支援員

網倉真由 (北杜高校)

穴山の杜：介護員

福島みゆき (北杜高校)



今、私に出来ることは何か？  
先日まで北杜高校総合学科 (福祉健康系列) で介護についての学習及び実習を学んで来ました。福祉の仕事についての概略は理解していたつもりでしたが、いざ研修を通して感じた事は今まで学習してきた事は基礎的学習であり、本当に難しい物である事を実感することが出来ました。

これから穴山の里で勤務するにあたり、利用者様の気持ちに寄り添って安全で快適な生活を送れるようにしたいと思っています。その為には、先輩職員の方々の行動を見習い、学生時代に学んだことも活かして仕事に取り組んで行きたいです。私のモットーである“笑顔”を大切にし、体調管理を心掛け支援の知識・技術を一つでも多く覚え、自身のものにして行きます。チームの一員として精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。



高校を卒業し社会人一年目で不安でいっぱいです。私は研修を通してこれからの目標を立てました。まず、大きな目標として立派な看護師になることです。研修で先輩方の技術の素晴らしさに感動したのと、自分の力不足をととても感じました。それと同時に自分も先輩方のようになりたいと強く思ったのです。まずは受験資格ができる三年間のあいだに色々な経験を積み

一発合格を目指します。

そのための第一弾として、コミュニケーションとつながりを大切にすることを決めました。日常の挨拶、利用者様との会話、これから出会う全ての人とのつながりを大切にしたいと思います。常に前向きに取り組むこと。これから先、辛いことにぶつかるかもしれません、それは成長するステップだと思い、自分だけで悩まず常に前を向き頑張ります。知識も技術もまだまだですが、たくさん学んで早く戦力になれるよう頑張ります。これからもよろしくお願い致します。

## 編集後記

新元号『令和』

4月1日職員研修のさなかに新元号が発表されました。明治・大正・昭和そして平成。それぞれの時代にそれぞれの想い出を残し間もなく新しい時代が訪れます。

今を生きている私達は過去を振り返り反省し、また、次への行動に移すため様々な情報を取り入れ、取捨選択し進んでいきます。新年度も各事業所で新たな体制が確立され、利用者様に寄り添った更なる支援・介護が提供できるものと感じます。

例年より桜の花を楽しめる期間も長くなっています。新しい発見を探しにお出掛けしませんか？ (I・Y)